

消防・警察合同水難救助訓練の実施について

小山市消防本部

小山市消防本部では、令和8年8月20日（木）、小山警察署と合同で水難救助訓練を実施しました。

本訓練は、水難事故発生時における消防・警察の連携強化と、迅速かつ確かな救助活動を目的としたものです。訓練では、水難事故を想定した実践的な救助訓練に加え、双方が保有する水難救助資機材を確認し、活動内容や資機材への相互理解を深めました。



【想定訓練の様子】

中田消防長は「今後も継続的に訓練を重ね、互いの連携をさらに深めていきたい。」と訓示し、さらなる連携強化の重要性を強調しました。

海老名市少年消防クラブが着衣泳訓練を実施

海老名市消防本部

海老名市消防本部では、7月26日に海老名市少年消防クラブで初めての取組みとなる、着衣泳訓練を市内の屋内プールにて実施しました。水難事故が多く発生する時期を迎えるに当たり、水の危険性について学ぶことで、水難事故から自身を守るためのスキルを身に付け、自らの危険回避能力の向上を図ることを目的として実施しました。当日は、神奈川県ライフセービング協会の講師を迎え、着衣の状態での水中移動や、水に落ちた際の浮き身体験、陸からの救助方法体験等を行いました。



消防通信

望

楼

ぼうろう

ポロシャツを導入しました

松本広域消防局

松本広域消防局では、執務環境の改善と業務の効率化を図るため、今年度からポロシャツを導入しました。日常の消防業務をはじめ、立入検査、訓練指導や救急講習など、幅広い場面で着用していきます。動きやすさや通気性など、職員の活動性と快適性に配慮した仕様としており、暑熱環境下での活動時における負担軽減も期待されます。今後も、職員が安全かつ円滑に活動できる環境を整備し、消防業務の質の向上と地域住民の安心・安全の確保に努めてまいります。



永代太々巴講さまよりバッテリーカーを寄贈

岸和田市消防本部

岸和田市消防本部では、令和8年7月24日（金）永代太々巴講さまから地域貢献の一環として、消防行政の広報活動に使用するバッテリーカーを寄贈いただきました。

今回寄贈いただいたバッテリーカーは子ども向けイベントなどで有効に活用し、多くの子どもたちに乗車していただくことで、消防や防災へ興味、関心を育むとともに地域の皆さまと交流を深めてまいります。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】